

評価及び取組報告書

令和8年1月30日

平塚市立ひばり幼稚園

園長 原藤 真之

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<p>節水</p> <ul style="list-style-type: none">・使う量を考えて蛇口をひねるようにし、無駄遣いをしない。砂遊び道具はたらいに水をためて洗う。・プールの水は、花壇や畑の散水に再利用する。 <p>紙の再利用</p> <ul style="list-style-type: none">・裏紙や新聞紙は、工作やお絵描き、掲示物作成時に再利用する。	<p>節電</p> <ul style="list-style-type: none">・グリーンカーテンで節電する。・電気やストーブは、人がいない時には、こまめに消す。・使用していないコンセントは抜く。	<p>ゴミの分別</p> <ul style="list-style-type: none">・プラと燃えるゴミに分ける。 <p>空き箱の活用</p> <ul style="list-style-type: none">・廃材を遊び等で再利用する。 <p>食品廃棄物を減らす</p> <ul style="list-style-type: none">・弁当を残さず食べる。・食育を通して、大根の葉等捨てがちな部分の調理方法や食べ方を知らせる。 <p>腐葉土づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・落ち葉を腐葉土にしていく。
独自メニュー		
 <p>「みどりのカーテン」で涼をとりました。</p>	 <p>たらいに水をためて節水しながら道具洗い。</p>	
 <p>さつま芋のツルを利用してリース作りをしています。</p>	 <p>集めた落ち葉で腐葉土作りに活かしています。</p>	

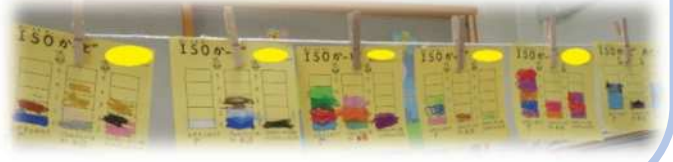
独自メニュー



年長児クラスは、クラスみんなで ISO カードを掲示し、その日の取り組みを振り返り、相談しながら目標を決めてきました。



年中児クラスは、帰りの会の中で一人一人が ISO チェックカードを活用して振り返りを行いました。



2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	昨年度の成果と課題の振り返りから、取り組みメニュー・独自メニューの内容を検討し、見通しを持った計画の立案ができていた。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	園児の活動については、担任教諭が中心となり、子ども達が無理なく取り組める内容を時期に合わせ設定し、継続して行うことで日常化が図れていた。職員も裏紙を再利用したり、分別したりすることが日常化されていた。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	帰りの会や月末に ISO 活動の振り返りの機会を設定し、クラスで好事例を紹介したり、気づきを共有したりする機会を大事にしていた。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	昨年度の年度末反省の結果が、今年度生かされていた。
その他	資源を大切にすること、継続することが日常化してきている。

3 1年間で振り返った感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

- ・ 日々の保育の中で意識できるようにチェック表を使って振り返ったり、表示を貼ったりしていたことで、水や紙の使い方など大切に使う意識が高まっていた。
- ・ 園庭の落ち葉と一緒に掃除することを通して、落ち葉が腐葉土として活用していただけることを知った。
- ・ 緑のカーテンを育てたことで、日陰は涼しく過ごせることを体感していた。

4 来年度に向けて（見直し結果）

- ・ 園で子ども達の意識を上げていくことはできたが、家庭でも一緒に取り組んでいけるように保護者にも意識的に発信していきたい。また、引き続き関心をもって ISO の取り組みをしていけるように、子どもや保護者とも考えていく機会を作っていきたい。

評価及び取組報告書




令和8年1月20日

港こども園

園長 川久保 希

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none">・裏紙をメモ用紙に使用。・カレンダー等大きい裏紙は絵画に使用。・節水を心がける。・ごみの表示を分かりやすくし、子どもたちと一緒に分別をする。	<ul style="list-style-type: none">・冷暖房を使う時は設定温度を守りドアを閉める習慣をつける。また、夏は、シェードを利用し陽射しを遮る。	<ul style="list-style-type: none">・配送用の段ボール、緩衝材等制作に再利用する。・給食の出た牛乳パックやカップ、お菓子の箱等制作に再利用する。・落ち葉は土へ埋め堆肥作りをする。
独自メニュー		
 <p>継続して「もえるごみ」「ぷらくる」の表示を分かりやすくした。年齢に応じて、写真、イラスト、文字と分け理解がしやすいようにした。 ペットボトルの蓋を利用しパズルを作成。リサイクル玩具で楽しんでいた。</p>	 <p>馴染みのある「もったいないばあさん」のイラストを使用することで子どもたちも節電に対して意識しやすくする。 夏は朝レースカーテンを閉めておくことで、室内の温度上昇を防ぎ省エネに心掛けた。</p>	 <p>給食で出る、人参等の廃棄する皮をカタツムリなどの生き物の餌にした。給食時に人参を見つけると「同じだね」と食材にも関心をもつきっかけにもなった。</p>

独自メニュー



空き箱などの廃材を使って色々な作品を作る。家に空き箱があると、持ってきて友達と一緒に組み立てて廃材制作を楽しんだ。



公園や園庭で拾った種、落ち葉などの自然物を使って、制作や遊びを楽しむ。落ち葉プールでは、子どもと一緒に落ち葉を日々集めた。年齢問わず楽しみ、地域の開放児も親子で楽しむことができた。

2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの決定等について	自分たちで取り組めそうなこと、取り組みたいことを出し合い、共通理解のもと進められるようにする。
D 実施 取組内容や取組方法について、全員で協力しているか	職員会議、朝礼等で共通理解が図れるようにし実施した。 クラスの子どもたちや職員間でも時々確認しあうようにした。
C 記録・確認 取組状況を把握し、確認をしているか	職員同士でも出来ていない所、気になる所など、時々振り返りや確認などをした。 新たに取組んだ内容は文字だけでなく、写真でも共有できると良かった。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の取組に活かされているか	職員の異動等があるので、年度初めに共通理解をし、取組みについて伝え合う必要がある。また、表示は劣化が見られたのですぐに直し継続して意識できるようにしていった。
その他	

3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

廃材を使用しての制作では、家庭から持ってきたり、作ったものを発表会で紹介したりしたことで、子どもたちも嬉しそうであった。また、家庭にも知らせる機会になったと思う。

4 来年度に向けて（見直し結果）

今年度も昨年に引き続き、子どもたちと一緒に資源の大切さについて知り取り組むことができた。夏は猛暑だったので、水を多く使用した。水がうまく循環できるようにしたり、植物の水やりで使用したりと水の大切さについて伝えていき、取り組んでいきたいと思う。